

心を一つに はじける雄姿

(3月4日、オドデ塾ふれあい演芸まつり―関連記事20頁―)

主な内容

五枚橋村長が所信表明演述…………… 2～5	村体協冬季スポーツ賞に9人……………12
29年度予算は43億8544万円…………… 6～7	目的達成し国体村実行委が解散……………14
胃がん検診を受けましょう…………… 8	オドデ塾ふれあい演芸まつり……………20

明るく活力ある

協働の村

①村づくりを支える魅力ある産業の創出

◆農業振興

- ▽農地利用の効率化と農村環境の保護を図る
- ▽ナインズファームを核として担い手を支援する



ナインズファームを核として担い手を支援

◆農作業の効率化を図るため基盤整備を促進し、農業環境の整備を推進する

- ▽農作業の効率化を図るため基盤整備を促進し、農業環境の整備を推進する
- ▽水稲は経営所得安定対策等制度を活用し、農業者の



水稲は単収向上を目指す

所得確保のため単収向上を目指す

- ▽主要重点推進作物4品目を中心に栽培指導体制を強化し、野菜などの園芸振興を図る
- ▽リンドウの新植支援などを推進しながら花卉振興を図る
- ▽省力化機械の導入や後継者の育成支援などを推進し、葉タバコの振興を図る
- ▽優良な繁殖牛導入などの支援を行い、畜産の振興を図る
- ▽鳥インフルエンザ対策は関係機関と連携し、不測の事態に対応できるように体制を整える
- ▽村営戸田牧野は、飼養管



所信表明を述べる五枚橋久夫村長

理の徹底を図り適切な運営に努める

◆林業振興

- ▽木炭生産施設整備事業補助金制度を有効に活用し、製炭経営の安定化および木炭生産環境の近代化を支援する
- ▽村林業基盤整備事業を活用し、作業道利用者の利便性を図るとともに、林道の適切な管理に努める

◆商工業の振興

- ▽中小企業金融対策利子補給事業を継続しながら、各種祝い金や助成事業には村共通商品券を活用する
- ▽商店街のにぎわいづくり

第1回村議会定例会は3月6日から16日までの11日間、役場本会議場で開かれました。

議会で五枚橋久夫村長は「地域の資源・宝物を生かし、互いが輝き合う協働の村を目指します」と所信を述べ、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の主な施策を紹介します。(2/5ページ)

のため、商工会の活動支援を強化する

◆企業誘致

▽立地条件の優位性と支援制度をPRしながら、引き続き企業誘致に向けて努力する

◆観光振興

▽道の駅おとりつめ「オドデ館」を核に、受け入れ態勢の整備を図り誘客活動を推進する

▽政美くのへFMを村観光情報発信事業として位置付け、引き続き取り組む



誘客活動を推進します
(オドデ館の初売り)

2 楽しく子どもを育て健康で安心して暮らせる村



平成29年度から保育料を半額
(わんこダンスを踊る園児)



平成29年度から給食費を半額
(山根小学校での給食)

◆子育て支援

▽乳幼児健診と5歳児健診を行い、乳児と保護者を支援する

▽健診補助や出産に係る経費負担の軽減を図り、さわやかハッピーファミリー祝いの金の交付や医療費助成事業を実施する

▽大幅な保育料軽減策をさらに進め、平成29年度から保育料をこれまでの半額、園児や児童生徒の給食費も半額にする

▽高校生まで拡大している医療費助成は継続実施する



高校生まで拡大している医療費助成を継続

◆保健医療の充実

▽小児予防接種を全額補助で、対象者全員が接種できるように進める

▽高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、5年計画で全高齢者が接種できるように、半額程度の補助を進める

▽各種がん検診の受診率向上を目指し、住民が受診しやすい体制を整える

▽医師による悩み事相談、保健師の出前相談、おしゃべりサロン「ひだまり」などの予防活動を継続する

▽生活習慣病の予防に力点を置きながら、健康で明るく元気な村づくりを目指す

◆障がい者福祉の充実

▽地域活動支援センター

「エール」の活動支援、自立支援給付費や高齢者・障がい者に優しい住まいづくり事業などで、引き続き障がい者の生活を支援する

◆高齢者福祉の充実

▽平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を始める

▽好評の介護予防教室は実



介護予防活動を推進し高齢者福祉の充実を図ります

施回数増による充実を図り、水中ウォーキング事業などを実施する

▽高齢者などの低所得者世帯を対象にした「あったか生活支援事業」を継続実施する

◆地域福祉の充実

▽子育てサロン、いきいきふれあい集会、配食サービス、移送サービスは継続実施する

▽災害時における避難支援については、要支援者台帳を随時更新し、大規模な自然災害に対し、備えを万全なものにする



自ら学び続ける子どもの育成に努めます
(九曜塾でのかんじぎ体験)



潤いと満足感を得られるよう取り組みます
(スマイルサポート支援事業)

3 心豊かな村民を育む 教育・文化の充実

◆学校教育の充実

▽各地域の貴重な教育資源を生かし、地域総ぐるみで子どもたちを育てる環境を整備する

▽村の将来を担う子どもたちの適正規模・適正配置、小中連携教育の在り方について、住民の意見を十分反映させた教育環境基本計画を策定する

▽全村一斉の家庭学習時間の設定や寺子屋九曜塾を実施し、自ら学び続ける子どもへの育成に努める

▽主体的・対話的で深い学

◆社会教育と生涯学習の充実

びによる協働学習や探究的授業の改善を図るため、教職員の研修を充実させる

▽スマイルサポート支援事業を生かし、子どもたちが学校生活に潤いと豊かさ、満足感を得られるよう取り組み

▽メディアとの上手な付き合い方の実践を積み重ねると同時に、読書と家庭学習に取り組みよう支援する

▽土曜学習の場である九曜

◆スポーツの振興

▽各種大会を支援しながら、施設の改修に努め、村民が身近にスポーツに親しむ環境づくりを推進する

◆文化芸術の振興

▽伝統芸能の発表と鑑賞機会を設け、その保存と継承活動を支援する

塾では、郷土に誇りと愛着を持つ子どもたちの育成に取り組む

4 美しい自然をいつまでも 誇れる環境の保全



環境美化活動を続けます

◆ごみの減量化

▽生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続し、それらの普及に努め、ごみの減量化を目指す

▽大掃除点検やクリーン九戸行動日を継続し、今後もごみの減量化や環境美化に努める

◆国際交流事業

▽平成29年度もアイルランドとの交流を計画している

▽村の国際理解の啓発と多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進める

◆伊保内高等学校の支援

▽伊保内高等学校の魅力ある学校づくりのため、進路指導・学力向上対策・就職支援に重点を置いた支援をする

▽小規模校の長所を生かした魅力ある学校づくりを進めている、伊保内高等学校の存続を強く要望していく



伊保内高等学校を支援します
(村地域子ども読書会)

5 ゆとりを持って生活できる
快適で安全な村

◆交通網の整備

- ▽村道整備として改良舗装工事2路線、舗装修繕工事1路線、法面工事1カ所を実施する
- ▽橋梁修繕工事1カ所を行い、住民と協働しながら村道の維持管理に努める

◆住宅整備の推進

- ▽平成29年度は若者定住促進住宅を長興寺地区に2棟整備する

◆上下水道

- ▽伊保内地域での公共下水道事業、戸田地域での農業集落排水事業、その他地域では合併処理浄化槽設置による整備を推進する
- ▽村水道未普及地域飲料水確保対策事業の周知を図り、水道未普及地域の飲料水確保に努める



若者定住促進住宅を長興寺地区に2棟整備予定

◆交通安全対策

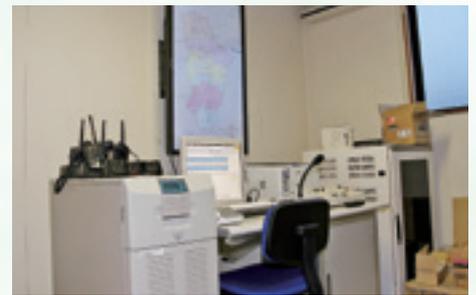
- ▽交通死亡事故防止や、飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化する

◆防犯対策

- ▽住民の防犯思想・安全意識の高揚を図るとともに、安心・安全な村づくりになお一層努力する

◆消防防災

- ▽防災無線デジタル化は3カ年計画の最終年の工事に入る



3カ年計画の防災無線デジタル化は最終年度

◆情報化の推進

- ▽小型動力ポンプ積載車1台の更新を計画している
- ▽消防施設・機械器具の整備、充実を進める

- ▽インターネット光回線を行政としての活用を検討し、行政サービスの情報化などによって一層の利便性を図る

◆消費者対策の充実

- ▽村広報やホームページなどで具体的な情報提供を行う

- ▽村民皆さまが安全・安心に暮らせる地域社会づくりを目指して、消費者行政に継続して取り組む

6 明るく活力ある
協働の村

◆協働の村づくりを推進

- ▽住民参画による地域コミュニティ活動の充実と地域活性化の取り組みを支援する

- ▽住みたくなる地域づくり活動補助金事業は継続して実施する

- ▽集落環境整備事業補助金と地域コミュニティ活動助成事業の活用を促進する
- ▽行政と住民、住民同士が互いに助け合う体制を強める

- ▽いき、明るく活力ある協働の村づくりを一層推進する

◆男女共同参画社会の形成

- ▽平成20年3月に策定された村男女共同参画プランの見直しを予定している

◆行財政改革の推進

- ▽今後も不断に無駄を排し、住民福祉の向上にまい進する



地域活性化の取り組みを支援
(能野館公園紅葉まつり)

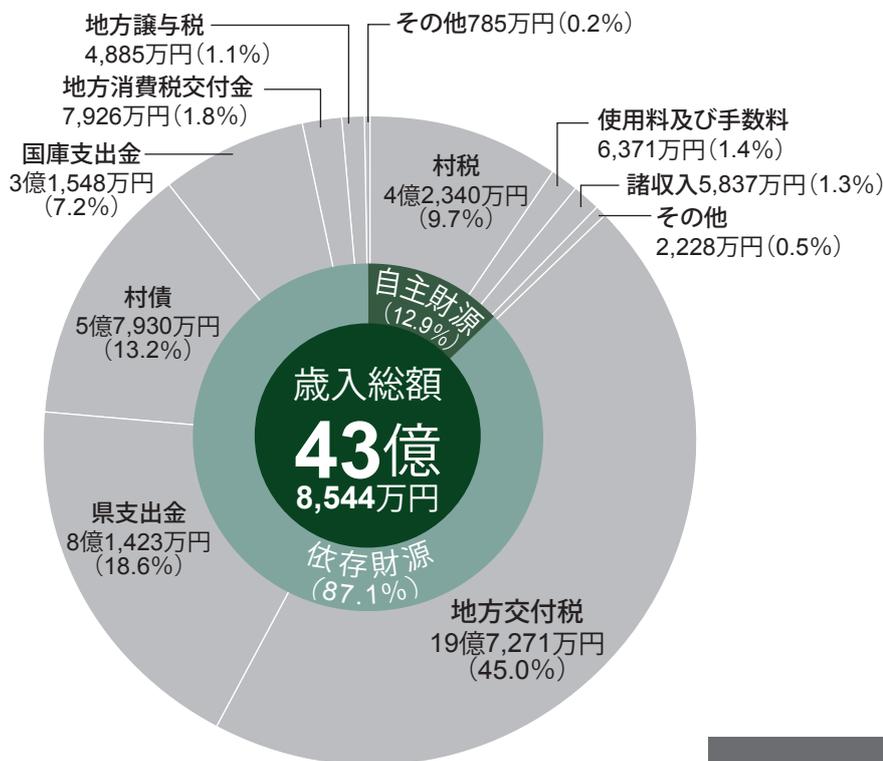


地域コミュニティ活動を推進
(川向部落会盆踊り大会)

29年度当初予算

43億8544万円

前年度比14・8%増

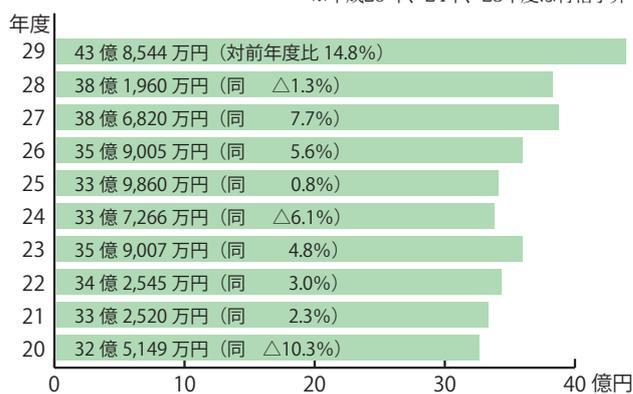


用語解説・歳入

- 【地方交付税】 財政力に応じて国から配分されるお金。
- 【村債】 村が国などから借りるお金。
- 【自主財源】 村が自主的に収入することができる財源。
- 【依存財源】 国や県から定められた額を交付される財源。

一般会計予算の推移

※平成20年、24年、28年度は骨格予算



各会計別の予算と伸び率 (△はマイナス)

会計名	平成28年度	平成29年度	伸び率
一般会計	38億1,960万円	43億8,544万円	14.8%
特別会計			
国民健康保険	8億5,353万円	8億5,497万円	0.2%
後期高齢者医療	5,447万円	5,703万円	4.7%
農業集落排水事業	3,388万円	2,918万円	△13.9%
下水道事業	1億3,225万円	1億2,841万円	△2.9%
索道事業	2,248万円	1,730万円	△23.0%
戸田財産区	1,214万円	609万円	△49.8%
伊保内財産区	591万円	563万円	△4.7%
江刺家財産区	640万円	666万円	4.1%
水道事業	1億4,002万円	1億3,982万円	△0.1%
合計	50億8,068万円	56億3,053万円	10.8%

村民一人当たりの…

- 予算額 725,346円 (前年度623,201円)
- 村税 70,030円 (同 65,967円)
- 借金(村債)残高 788,704円 (同 721,641円)

※数値は一般会計。人口は6,046人(平成29年2月末現在住民基本台帳人口)、村債は29年度末残高見込みで計算。

一般会計

前年比14・8%増

平成29年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を5億6584万円(14・8%)上回る、38億1960万円となりました。

また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は56億3053万円で、昨年度より5億4985万円、10・8%多くなっています。

歳入

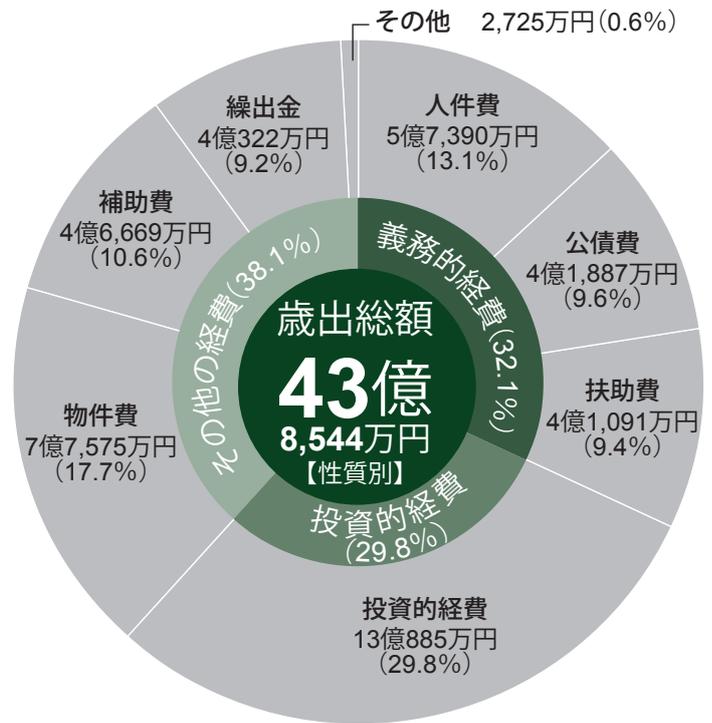
交付税が全体の45%

一般会計予算の歳入を見ると、地方交付税が19億7271万円で全体の45・0%(昨年度比5・3ポイント増)を占めてトップ。次いで県支出金、村債、国庫支出金と続きます。

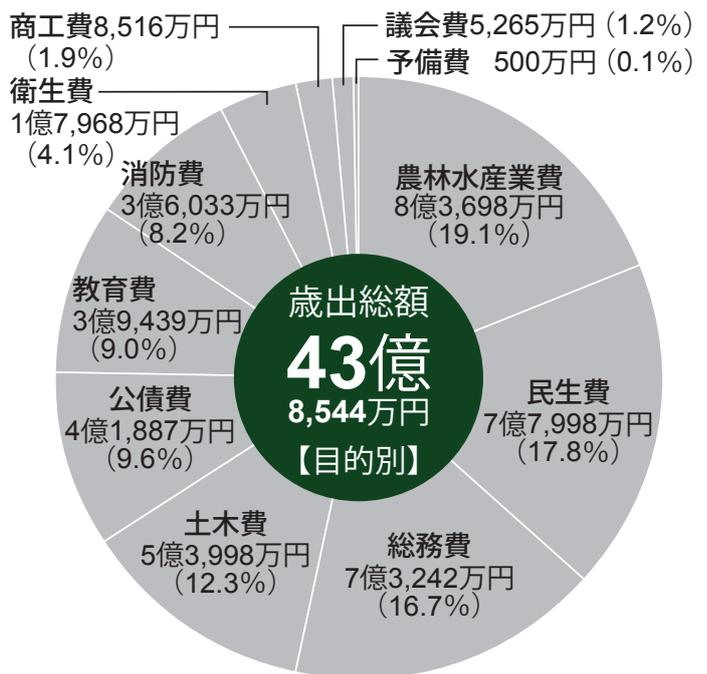
自主財源は、昨年度を1418万円(2・6%)上回る5億6776万円となりました。村税は1909万円(4・7%)増となっています。

依存財源は前年度より5億5166万円増加しました。

主な投資的事業	
伊保内保育園増築事業	311万円
ごみ焼却施設修繕負担事業	1,624万円
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	1,024万円
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	2,023万円
経営体育成支援事業	1,159万円
畜産クラスター事業	5億7,042万円
多面的機能直接支払交付金事業	3,318万円
林業振興対策事業	1,329万円
まちの駅駐車場改良事業	584万円
道路維持補修事業	3,004万円
林道新設改良事業	2億1,357万円
橋梁長寿命化修繕事業	3,700万円
定住促進住宅建設事業	6,610万円
防災無線デジタル化事業	1億2,451万円
小型動力ポンプ積載車更新事業	906万円
小学校施設整備改修事業	5,294万円
小学校教育用 ICT 機器整備事業	2,407万円
水道施設改良事業	1,305万円



水道事業会計予算の内訳	
◆ 収益的収入・支出（1年間の損益取引）	
・ 収入…1億3,982万円	・ 支出…1億3,982万円
◆ 資本的収入・支出（投下資本の増減に関する取引）	
・ 収入…1,048万円	・ 支出…7,743万円
※収入不足の6,695万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。	



用語解説・歳出

【公債費】 村債（借金）の返済に充てるお金。
 【扶助費】 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、などの法令に基づいて支出する経費。
 【物件費】 委託料、賃金、旅費、役務費など。
 【義務的経費】 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。
 【投資的経費】 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。

歳出

農林水産業費が19%でトップ

歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が4.9%増の14億368万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は30億7659万円となり、前年度より4.4%増加しました。投資的経費は前年度より4億5672万円（53.6%）多い、13億885万円となりました。

目的別では、農林水産業費（農林業振興や生産基盤整備などの経費）が8億3698万円となり、全体の19.1%でトップ。次いで、民生費（福祉対策や保育園などの経費）が7億7998万円と続き、全体の17.8%となっています。

増加率が最も高かったのは農林水産業費（5億645万円）53.2%の増）となり、続いて教育費（6328万円）19.1%の増）となりました。一方、減額率が最も高かったのは土木費で、前年度を6895万円（11.3%）下回りました。

胃がん検診を受けましょう

胃がんは、がんの中で最もかかりやすいがんです。しかし、早期発見をすれば経過良好で、ほぼ治すことができます。検診を受けて胃がんの予防、早期発見に努めましょう。

《検査日程》

月日	曜日	会場	対象地区	受付時間	
4月10日	月	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木	午前6時～8時	
		長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺下、大向		
4月11日	火	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根		
4月12日	水	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地		
		村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島		
4月13日	木	村保健センター	川向、南田、小倉		
4月14日	金	長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺上、五枚橋、荒田、雪屋		
		江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋		
4月16日	日	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者		午前6時～9時

※ 検診の混雑を防ぐため、地区毎に検診日を指定しています。
指定日に都合がつかない場合は、上記のいずれかの日程に受診してください。

■検診料

1800円

※住民税非課税世帯と70歳以上（平成29年4月1日現在）の人は無料です。

■対象者

40歳以上（平成29年4月1日現在）

※勤務先で同検診がある場合は、勤務先で受診しましょう。

■受診できない人

- 妊娠中、妊娠している可能性がある
- 胃・十二指腸の切除手術をした
- 胃疾患で定期的に検査を受けている
- バリウムによるアレルギー反応を起こしたことがある
- 腸閉塞・腸管憩室炎を起こしたことがある
- バリウムによる気管支炎・肺炎で治療を受けたことがある
- 腎臓疾患や心臓疾患など

1/100秒で心技体競う

村スキー選手権大会は2月26日、村営くのへスキー場で開かれまして。村内外から46人が集まり、培ってきた技術を競いました。ダイナミックコースにおいて、男女年齢別14部門に分かれて、ジャイアントスラロームによる1本のタイムで頂点を争いました。



中学校男子で優勝した森太久斗君

選手たちは、日頃鍛錬した心と技を出し切ろうと果敢に旗門を攻め、1/100秒を競い合いました。競技の結果、本村の上位入賞者を紹介します。（敬称略）

● 学年・所属は受賞時

- 小学校1・2年女子
 - ① 坂本桜凛えりりんくのへジュニア
- 同1・2年男子
 - ① 古館明澄（長興寺小）
- 同3・4年女子
 - ② 古館愛佳あいかくのへジュニア
- 同5・6年女子
 - ③ 坂本星凛せいらり（同）
- 同5・6年男子
 - ② 林竜太郎（江刺家小）
- 中学校女子
 - ① 森美沙希みさきくのへジュニア
- 同男子
 - ① 森太久斗（同）
 - ② 小林海斗（同）

- 水分制限をしている
- 2日（検査前日、前々日）以上便通がない
- 検査で体力に不安がある
- 受診時の注意
 - 検診前日の夕食は、午後9時ごろまでに済ませてください。お酒は飲まないでください。
 - 検診当日は検診終了まで絶食です。たばこは吸わないでください。
- 問い合わせ
 - 住民生活課保健衛生班（☎42・2111内線122）

リハビリ体操で元気生活

村シルバリーハビリティ体操の集いは3月7日、HOZホールで開かれました。村内から112人が集まり、元気で高齢期を過ごしていこうと理解を深めました。講演では、いわてリハビリテーションセンターの佐藤英雄さんが介護予防の大切さと運動の重要性について解説しました。また、昨年9月に設立さ

れた、リハくのへの会の活動を紹介します。村内から7人がシルバリーハビリティ体操指導者養成講習会に参加し3級を取得。介護予防教室などで体操を積極的に活用していることを報告しました。さらに、来場者も参加しシルバリーハビリティ体操に挑戦。肩こりや腰痛予防の体操に挑戦し、楽しそうに体を動かしていました。



シルバリーハビリティ体操を試みる参加者

総合事業が4月から始まります

平成29年4月1日から二戸管内でも介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）が始まります。総合事業では、要支援1、2の認定を受けて利用している介護予防訪問介護（ホームヘルパー）と介護予防通所介護（デイサービス）が介護

保険給付から地域支援事業へ移行されます。4月からは要支援1、2以外の人でも一定の条件を満たせば、利用できるようになります。※平成29年4月1日以前から要支援1、2の認定を受けている人は、サービスを引き続き利用できます。

■問い合わせ
住民生活課保健衛生班（☎42・2111内線123）、地域包括支援センター（☎42・2111内線121）

平成29年度

村職員の人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で発令されました。（カッコ内は異動前の職名）

【課長補佐級】

- ▽住民生活課長補佐兼地域福祉班長（議事事務局局長補佐） 大久保勝彦
- ▽議事事務局局長補佐（教育次長補佐兼生涯学習班長） 大向一司
- ▽教育次長補佐兼生涯学習班長（住民生活課長補佐兼地域福祉班長） 杉村幸久
- ▽総務企画課主査（教育委員会主査） 岩崎浩美
- ▽戸田保育園長（伊保内保育園主任保育士）

- 上山恵子
- ▽伊保内保育園長（ひめほたるこども園長） 小井田まき子
- ▽ひめほたるこども園長（戸田保育園長） 橋本幸子

【主任級】

- ▽総務企画課主任（農林建設課主任） 篠山剛
- ▽税務会計課主任（農林建設課主任） 関端祐介
- ▽住民生活課主任（総務企画課主任） 小野寺さゆり
- ▽農林建設課主任（総務企画課主任）

【主事級】

- ▽総務企画課主事（総務企画課主事補） 八重樫秀昭
- ▽総務企画課主事（住民生活課主事） 齊藤諒
- ▽総務企画課主事（農林建設課主事） 下川原美保子
- ▽住民生活課主事（総務企画課主事） 館伸幸
- ▽住民生活課主事（住民生活課主事補） 田澤直樹
- ▽農林建設課主事（税務会計課主事） 笹山永
- ▽農林建設課主事（税務会計課主事） 小野寺隆
- ▽農林建設課主事（農林建設課主事補） 櫻庭和輝
- ▽農林建設課主事（農林建設課主事補） 細川猛
- ▽教育委員会事務局主事（教育委員会事務局主事補） 佐賀友洋
- ▽戸田保育園保育士（ひめほたるこども園保育士） 堀野恵
- ▽ひめほたるこども園保育士（伊保内保育園主任保育士）

【再任用】

- ▽総務企画課 古館英一
- ▽農林建設課 小野寺正
- ▽教育委員会 上村勝己
- ▽戸田保育園 欠端哲代
- 【退職者】（3月31日付）
- ▽田村隆子（伊保内保育園長）



交流を深め、互いの活躍を誓いました



音楽に合わせて踊り、来場者を楽しませてくれた下川原光江さん
かぐやもち多額生産者の部で優秀賞に輝いた上屋敷秀男さん

m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当 ☎ 42-2111 (内線 168) へお寄せください。

農業生産者の集い 豊年満作を祈願

村農業生産者の集いが2月23日、H O Zホールで開かれました。農業関係者など約140人が集まり、実り豊かな年になることを願いました。本年度、作物ごとに優秀な成果を上げた39人へ表彰状が贈られ、その功績がたたえられました。講演では、横浜丸中青果㈱の立波裕之さんが「青果物流通の変化と産地へ期待する事」について講演。九戸村出身である立波さんは、「九戸村の気候に適した作物の生産に力を注ぐことを勧める。消費者は安価だけではなく品質重視に変わってきている。農業改革を進め、品質重視な生産に努めてほしい」と説いていました。講演後に参加者は昼食を楽しみながら互いに情報交換し、豊年満作を祈願していました。

6人がアイルランド派遣報告 自信あふれ堂々発表

村青少年海外派遣事業報告会が2月21日、H O Zホールで行われました。九戸中学校の2年生(当時)4人と伊保内高等学校2年生(当時)2人が、10月24日から11月3日までアイルランドで研修した成果を発表しました。野辺地桃子さん(伊保内高2年=当時)が「日本とアイルランドの食の違い」について研究結果を報告。その後、派遣生6人が異文化に触れ肌で感じた貴重体験を、インタビュー形式で発表しました。堂々と発表する派遣生の姿は、自信に満ちあふれ、充実した表情を浮かべていました。



アイルランドで学んだ成果を、自分の言葉で堂々と発表する派遣生6人

風力発電における環境影響の調査結果について説明



風力発電を16基計画、平成32年運転予定 環境影響は小さいと報告

ジャパン・リニューアブル・エナジー㈱では風力発電事業を計画しており、3月16日、村山村開発センターにおいて行われた説明会には住民16人が参加しました。事業では、折爪岳南方の折爪トンネルから小倉岳にかけて風力発電所の建設を計画。最大16基を設置し、全体で52,800KWの発電を想定。早ければ平成30年から工事着工し、平成32年から運転が開始されるとのことです。この日は、環境影響評価法に基づいた評価結果について説明がありました。建設工事に伴う二酸化窒素や騒音、水の濁りなどについては環境基準を下回っており、事業による影響は小さいと報告。また生息する動植物、生態系への影響も小さいと説明がありました。



感謝と希望を胸に、九戸中学校を卒業する生徒

54人が九戸中学校を卒業 心をこめ歌で感謝

3月15日、九戸中学校において卒業証書授与式が行われ、54人が通い慣れた学びやを巣立ちました。式では、吉田竜二郎校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。在校生を代表して下川原一将君（3年）が「自分たちの目標としていつまでも輝き、大きく前に進んでください」と卒業生を送り、卒業生を代表して小沼侃士君が「九戸中生であったことに誇りと自信を持って、いかなる困難にも立ち向かっていきます」と、力強く堂々と誓っていました。

式の後には、卒業生と在校生による合唱交換が行われ、心のこもった歌声が会場を包み込み、涙を我慢しながら感謝のエールを交換していました。



農業生産者が集まり、踊りを見ながら



ピーマン多額生産者の部で優秀賞を受賞した小井田由美さん



情報交換しながらバランスのよい食事作りを学ぶ参加者

家族介護教室で16人学ぶ よくかんで食べよう1汁3菜

家族介護教室は2月27日、村山村開発センターで行われました。村内から16人が参加し、講義や調理実習を通じて介護への関心を高めました。管理栄養士の松本紀子さんが「高齢者の健康寿命を延ばそう」について講演。松本さんは「食事は1汁3菜の献立になるよう心掛け、歯応えのある食材をよくかんで食べるようにしてほしい」と解説していました。その後、参加者も加わり、中華白菜のクリーム煮を含む5品目の調理実習に挑戦。参加者は互いの知識を共有しながら、笑顔で料理作りに励んでいました。

くのへ朗読会に約110人 どっぷり浸る本の世界

くのへ朗読会は2月24日、HOZホールで開かれ、約110人が樹原ゆりさんと高橋和久さんによるプロの朗読を堪能しました。樹原さんが子ども向けに滑らかな口調で読み聞かせると、普段は元気で活発な子どもたちも、表現力豊かな表情や映し出される画像を見ながら、じっと聞き入っていました。大人向けの月島慕情の朗読では、声に強弱をつけたり、体全体で表現される滑らかな朗読に、参加者は自然と本の世界にいざなわれ、どっぷりと浸っていました。



抑揚をつけた流ちょうな朗読に自然と吸い込まれていました

村体協冬季スポーツ賞

功績たたえ9人受賞

平成28年度冬季村体育協会スポーツ賞に9人が選ばれ、3月24日に村公民館で表彰状が贈られました。中学生への贈呈は3月13日、九戸中学校で行われました。受賞された皆さんと主な功績を紹介します。(敬称略・学校・学年は受賞時)

《スポーツ優秀選手賞》

▽館紳也(岩手大4年) Ⅱ

第54回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会・ラテン部門優勝

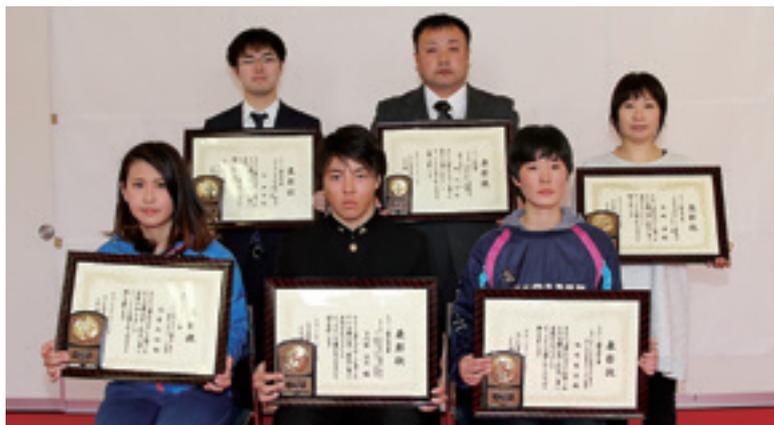
▽浅水洸佳(日本女子体育大3年) Ⅱ第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会・成年女子Aジャイアントスラローム出場

▽下川原涼太(平館高1年)

Ⅱ同・少年男子ジャイアントスラローム出場

▽浅水愛佳(平館高2年) Ⅱ第66回全国高等学校スキー大会・女子スラローム出場

▽森美沙希(九戸中3年) Ⅱ第54回全国中学校スキー大会・女子ジャイアントスラローム



スポーツ賞に輝いた皆さん。前列左から浅水洸佳さん、下川原君、浅水愛佳さん、後列左から館さん(代理)、林さん(代理)、大崎さん(代理)

明選啓発習字コンクール

村選挙管理委員会などが主催する、村明るい選挙啓発習字コンクールが2月に行われました。コンクールには村内小中学校の児童生徒から、59点の応募がありました。感性あふれた力強い自信作が数多く出品されていきました。審査員7人による審査の結果、25点が入賞し、

上位3賞の入賞者を紹介します。(敬称略・学校名・学年は入賞時)

◆村選挙管理委員会委員長賞

小沼玖慧(山根小6年)

◆村明るい選挙推進協議会会長賞

鈴木和(伊保内小4年)

◆優秀賞

千葉詢子(伊保内小2年)

大野りこ(同3年)

小野寺詩温(長興寺小4年)

中澤悠空(戸田小5年)

山下須瑠(伊保内小6年)

山下笑舞(九戸中3年)

◆村選挙管理委員会委員長賞



小沼玖慧さんの作品

◆村明るい選挙推進協議会会長賞



鈴木和さんの作品

80歳で20本の歯

県歯科医師会が主催する、県イー歯トープ8020コンクールにおいて、村内から5人が表彰されました。

自分の歯でおいしく食べ、健康で長生きするためには

5人が表彰

20本の歯が必要ということから、「80歳で20本の歯を残しましょう」を推進するために実施されています。

申し込みは県内から1720人あり、二戸管内では51人が受賞しました。

本村から受賞された5人を紹介します。(敬称略)

野辺地タキ(90歳・江刺家上)

杉村ハルヨ(81歳・泥の木)

坂本正三(80歳・南田)

小田野石蔵(84歳・道地)

立波正蔵(83歳・丸木橋)



80歳以上で20本の歯を保ち表彰された坂本正三さん

友達の輪 24



田澤 大智さん
29歳・柿の木

高校卒業後、(株)阿部繁孝商店に就職。平成25年に結婚し、妻と暮らしています。

- ◆趣味・特技は？ 小学校から野球を始め、今は九戸クラブで汗を流しています。
- ◆休みの日は？ 妻と一緒に、食事や買い物に出掛けることが多いですね。
- ◆熱中していることは？ 19歳から始めた綱引きに熱中しています。将来は全国大会に出場したいですね。
- ◆奥さんに一言 自分の好きな事をやらせてもらっていることに感謝しています。
- ◆将来の夢は？ 今後も家族と一緒に旅行を楽しみたいです。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

元気スマイル 25



小野寺 夕キさん
昭和13年4月22日生・78歳(川向)

戸田地区東京で生まれ、昭和29年に結婚。子ども4人に恵まれ、農協などで働いてきました。

- ◆趣味・特技は？ 日本民謡協会岩手九戸会に20年以上加入し、今でも歌や踊りを楽しんでいるよ。
- ◆元気の秘けつは？ 早寝、早起きを心掛けることだね。
- ◆一番の楽しみは？ 仕事に精を出し、感謝されることがうれしいね。
- ◆一番の思い出は？ 昭和62年に熊本県で行われた、国民文化祭に県代表として出場できたことだね。

むらの文芸

第347回 くのへ俳句会

菅野 岑子

枯るるもの枯れつくしたる庭の景
あめ玉を口に転がし枯野道
支え合ふ二人となりて年迎ふ
縁側に満ちあふれけり初日影
咳ひとつ後の静もり寒の入

冬部 雪女

淡雪や堰堤渉る鷺一羽
ものぐさの婆の閑居や春炬燵
日溜まりに土筆はびこる鄙の里
春光や産声高く上がりけり
園児等の夢七色に春の虹

万葉の森を棲み処に春の鳥

淡雪や献花の絶えぬ事故現場
寄合て万談笑春炬燵
つくづくし折れし心も癒されて
どの子にも出番あれよと卒業式
何やかと苦勞乗り越え卒業す
農婦病みりハビリ励む春隣

高島ふみ女

田村 畦畔

淡雪や小鳥獣の足の跡
テレビ見て言葉も無しや春炬燵
友逝きし春の巡りて三回忌
旅控え全快祈る春の風邪
春めきし膝に孫だく誕生日
認知症仕草の続く春の日々

館村 青村

淡雪の雫きららな千枝かな

ひとときを風雅に遊ぶ春こたつ
のびのびとつくしん坊の伸び盛り
うららかに村旗国旗や村役場
禅寺も壇徒の街も彼岸かな
街角の庚申塔や村のどか
絶壁を背に海女の小袖かな

【二月席題詠より】

少女吹くときには哀し神楽笛 (ふみ女)

傘寿には傘寿の歩み凍てし道 (赤藤)

惜しまれて天寿全う雨水の日 (雪女)

句談議を聴く楽しみや日脚のぶ (雪女)

天界も地界も寂と春立てり (青村)



国体村実行委が第5回総会

所期の目的達成し、3月31日解散

希望郷いわて国体九戸村
実行委員会（会長・五枚橋
久夫九戸村長）の第5回総
会は2月27日、九戸村公民
館に委任状を含む81人の委
員と顧問・参与10人が参加
して開かれました。

総会では、昨年10月2日
に行った軟式野球競技会
の事業報告と競技会運営
費やおもてなし事業、炬
火イベント事業など総額
1216万円の決算見込み

など4議案を審議。いずれ
も承認・可決されました。
同実行委員会は、所期の
目的が達成されたことから
3月31日をもって解散する
こととなりました。

これまで希望郷いわて国
体軟式野球競技会の開催に
際しまして、たくさんのご
支援やご協力をいただきま
した。心から感謝申し上げ
ます。ありがとうございます
でした。



岩崎 悦和さん

村教育委員

岩崎悦和さんを再任

村教育委員会の委員に岩
崎悦和さん（48歳 山根）
が再任されました。任期は、
平成29年4月1日から平成
33年3月31日までの4年間
となります。

同委員会は4人で構成さ
れ、学校教育や社会教育・
生涯学習・文化財・体育な
どに関する事務を管理・執
行しています。



国体の成功により実行委員会解散を決定した第5回総会

震災忘れず真心届ける

3月10日、長興寺小学校
において3・11集会が開か
れました。同校では、東日
本大震災の被災者への思い
を忘れないようにと、防災
について理解を深めること
を目的に、震災翌年の平成
24年から集会が行われてい
ます。

この日は全校児童44人が
ふれあいホールに集まり、
門ノ沢邦夫校長（当時）か
ら津波の様子が動画で紹介

され、被害状況などが説明
されました。また、黙とう
をささげ被災者を追悼し、
復興を祈願しました。

その後、震災後から野田
村へシクラメンの花を届け
てきた「まごころ花くらぶ」
の活動を、ICT（情報通
信技術）を活用して振り返
りました。

水上鈴君（6年）は、「被
災の大変な状況を忘れず、
被災者のためにも頑張り、



門ノ沢校長（左）から震災を学ぶ長興寺小児童たち

これからも真心を届けたい」と話していました。

保護者にアンケートを実施

望ましい教育
環境在り方検討
委員会では、こ
れまで4回の委
員会を開催し、
適正規模・適正
配置について協
議を行っていま
す。2月に開催
した第4回の委
員会で協議され
たアンケート調
査について、現在、中学校
以下の生徒・児童の保護者
を対象に、検討委員会の基
礎資料とするためアンケー
トをお願いしたところです。
皆さまから頂きました意
見、意向を参考に、今後
学校規模の適正化を協議し
ていきます。

■問い合わせ
教育委員会教育総務班（☎
42・2111内線302）

九 戸 中 学 校

卒業生へ感謝の言葉

九戸中学校で3月10日、生徒会主催の春駒の会を行いました。

在校生から卒業生に感謝の気持ちを伝えようと、一人一人にお礼の言葉と色紙が贈られました。

卒業生からは、「今まで協力して

くれてありがとう。皆さんがいてくれたので、ここまですべて出来ました。これからは、一人一人自分が選んだ道を進みます。九戸中学校のさらなる発展を祈ります」と、



感謝の思いが伝わった色紙が在校生から卒業生へプレゼント

感謝の言葉とともにエールを送り返されました。

最後には、在校生がアーチを組んで卒業生を見送りました。卒業生は、在校生の「今までリードしてきた

Books ◆ 今月のおすすめ図書

室町無頼

垣根 涼介 著／新潮社



望み無き、この世を変えてやる。かつてなく富める者と飢える者を生み出した応仁の乱前夜。前代未聞のたくらみを1本の6尺棒で叩き壊す。動乱の都を駆ける3人の男と京洛一の女。史実と実在の人物で描く大傑作！戦国時代はここから始まった。

夜行

森見 登美彦 著／小学館

6人は京都で学生時代を過ごした仲間だった。10年前、鞍馬（くらま）の火祭りを訪れた私たちの前から彼女は突然姿を消した。そして、10年ぶりに鞍馬に集まった5人。旅先で出会う謎の連作絵画「夜行」。彼女はまたあの夜の中にいる…。



四月になれば彼女は

川村 元気 著／文藝春秋



4月、初めて付き合った彼女から9年ぶりに手紙が届いた。その時、僕は結婚を決めていた。愛しているのか分からない人と。なぜ今になって手紙を書いてきたのか。遠く離れた天空の鏡・ウユニ塩湖から。失った恋に翻弄（ほんろう）される、12カ月が始まる。

とんでもない

鈴木 のりたけ 作／アリス館

何の取りえもないと言う男の子。とんでもない、と動物たち。それぞれの悩みがあって…。自分にはないものは良く見えるけど、あったら色々大変。僕は僕でいいんだ。



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

伊 保 内 高 校

ホームページをご覧ください

校長 菅原 尚志

伊保内高等学校では、学校ホームページを開設しています。学校の基本的な情報を公開するとともに、生徒の活動の様子を随時掲載

し、開かれた学校づくりを推進しています。

どうぞ、一度、伊保

内高校のホームページをご覧ください。

ウェブで「伊保内高校」と検索すると、出てきます。

伊保内高校



ウェブで「伊保内高校」と検索すると、出てきます。

伊保内高校のホームページ

■ホームページURL
<http://www.2iwate-ed.jp/ibn-h/>

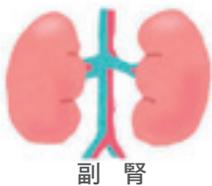


ストレスに負けない体づくり

副腎の疲労を予防しよう

4月は卒業や入学、就職、引越、職場の人間関係が変化することによって、心や体にストレスがかかります。また、歓送迎会などが重なり、お酒を飲む機会が増え、食事の取り過ぎや寝不足などによって、心身に疲れがたまりやすくなります。

そこで注目したい、大事な臓器が副腎です。副腎では体を守るホルモンが作られています。ストレスなどによって副腎が疲弊し、機能が低下すると、倦怠感、無気力感などの疲労症状が出てきます。



副腎

副腎疲労回復法

- ストレスを避ける
- タバコ、コーヒーをやめる
- ビタミンB、Cを補給する

積極的に取りたい食品

〈ビタミンB群〉

豚肉、うなぎ、かつお、玄米、鶏卵、乳製品

〈ビタミンC群〉

いちご、キウイ、ブロッコリー

〈β-カロテン〉

ホウレン草、小松菜、カボチャ、ブロッコリー、ニンジン、春菊(色)

〈ビタミンE〉

タラコ、筋子、うなぎ、アーモンド、カボチャ、アボガド、抹茶

〈カルシウム・マグネシウム〉

小魚、小松菜、豆腐、切り干し大根、ひじき、納豆、牡蠣、ホタテ貝、枝豆、ピーナッツ、ゴマ、アーモンド



ストレスに負けずに元気に過ごす方法

- ストレスを避ける
- 太陽の光
- ウォーキングなど

有酸素運動

日頃の食事と気分転換で疲れにくい体を目指しましょう。



(栄養士 高見館 ハスミ)

国保の資格が異動したら届け出を

国民健康保険(国保)は、会社などの健康保険や後期高齢者医療制度に加入している人、生活保護を受けている人を除く全員が加入する制度です。

就職して会社などの健康保険に加入、または、退職して離脱したときや国保に加入している人の住所や世帯主が変わったときは、役場で手続きが必要となります。

資格が異動したら届け出を

他の市区町村に転出したときや会社などの健康保険に加入したとき、修学による特例や対象施設へ入所して住所の特例の該当要件を満たさなくなったときには、その旨の『届け出』と『国保の保険証を返す』手続きが発生します。

手続きをせず国保の資格が無くなってからも国保を使用して保険医療機関を受診する人がいます。その場合、本来、自分が加入している保険でその給付が行われるべきですから、国保が給付した医療費を返還してもらいます。また、資格を喪失していないことで国保も賦課されたままになりま

す。そうならないためにも、国保の資格が異動が生じたら役場にすぐに届け出て正しい保険証を使いましょう。

保険証は大切に

保険証は、保険医療機関を受診するときに必要となる大切なものですから大切に保管しましょう。また、万が一、紛失したときには、役場の窓口へ届け出て再交付を受けてください。

主な異動事由と必要書類

国保に加入するとき	持参するもの(印鑑のほかに)
転入してきた	転出証明書
会社の健康保険をやめた	会社の健康保険をやめた証明書
生活保護を受けなくなった	保護廃止決定通知書
国保をやめるとき	持参するもの(印鑑のほかに)
転出するとき	国保の保険証
会社の健康保険に加入した	国保と会社、両方の保険証
その他	持参するもの(印鑑のほかに)
修学のため別に住所を定める	国保の保険証、在学証明書
退職者医療制度の対象になった	国保の保険証、年金証書

学生納付特例申請について

学生納付特例制度によって、平成28年度に保険料納付を猶予されている人で、平成29年度も引き続き在学予定の人には3月末に、年金事務所から学生納付特例申請書（はがき形式）が送付されています。同一の学校に在学している人は、このハガキに必要な事項を記入し返送することで平成29年度分の免除申請が行えます。

なお、平成29年度の保険料を免除せず納付を希望する人は、お近くの年金事務所に連絡ください。

※この制度を初めて利用する人は、広報くのへ2月号または住民生活課国保住民班、年金事務所などで確認ください。

消防署だより

火の用心 森から聞こえる ありがとう

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

3月1日から5月31日までは山火事防止運動月間です。空気が乾燥し、山火事が多く発生する季節になりました。

■山火事防止運動重点事項

- ① たき火をしたらその場を離れず完全に消火すること
- ② たばこの吸い殻は、必ず消すとともに投げ捨てないこと
- ③ 火遊びはしないこと



山火事防止運動統一標語

村内の火災・救急（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	-1件
救急	17件	40件	-11件

4月6日から春の全国交通安全運動

■実施期間

4月6日から15日までの10日間

■運動重点

【子どもと高齢者の事故防止】

子どもは興味のあるものを見つけると周囲を見ずに飛び出すなど、思いもよらない行動を取ることがあります。

運転中に子どもを見掛けたら飛び出しなどの危険を予測し、速度を落とし、安全な間隔を保って走行しましょう。

【走行中・自転車乗用中の交通事故防止】

道路を通行する時には、歩行者も自転車も「止まる・見る・待つ」の3S運動を心掛け、交通事故を防止しましょう。

○3S運動

- Stop（止まる）
- See（見る）
- Stay（待つ）

【シートベルトとチャイルドシート
の正しい着用の徹底】

運転手の皆さんは、車に乗った全てのの人にシートベルト、チャイルドシートを正しく着用させ、交通事故から大切な命を守りましょう。

【飲酒運転の根絶】

飲酒運転は、悪質な犯罪行為です。少量のアルコールでも、脳の機能を麻痺させ、運転に必要な注意力や判断力を低下させ、大きな事故を起こす原因となります。「飲酒運転をしない・させない」を合い言葉にドライバーの人はもちろん、周囲の人も協力して飲酒運転を根絶しましょう。

村内の交通事故（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
人身事故	2件	2件	+2件
物損事故	6件	14件	-5件
負傷者	2人	2人	+2人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転検挙者	1人	0人	+1人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数…… 873日
(2月28日現在)



ふるさと二戸 合同企業説明会

ふるさと二戸合同企業説明会を開催します。二戸地区の企業が20社程度集まる予定ですので、ぜひ参加ください。

■日時 4月30日(日)

午後1時～午後5時

■会場 二戸パークホテル

■対象 平成30年3月大学院・大学・短大・専門学校卒業予定者および既卒者、またはUターン・Iターンを希望する求職者、起業創業を考えている人

■内容 移住・定住相談コーナー、起業創業相談コーナー、適性診断・職業訓練情報コーナー

■問い合わせ 二戸地域雇用開発協会(☎23-3040)

県民の森で 体験教室開催

県民の森で体験教室を開催しますので、気軽に申し込みください。

【木工教室プランター】

■日時 4月16日(日)

午前9時～午後3時30分

■参加料 3,000円

【自然ボランティア活動】

■日時 4月29日(土)

午前10時～午後3時

■参加料 無料

【カタクリ自然観察会】

■日時 4月30日(日)

午前9時～正午

■参加料 1,000円

■申し込み・問い合わせ 森林ふれあい学習館フォレストi(☎0195-78-2092)

5月12日は民生委員 ・児童委員の日

5月12日を民生委員・児童委員の日と定め、同日から1週間を活動強化週間として全国的に民生・児童委員活動の普及・啓発に取り組みます。また、平成29年度に民生委員制度が100周年を迎えます。

【「民生委員・児童委員の日」活動強化週間】

■実施期間

5月12日(金)～18日(木)

■一斉取組日 5月12日(金)

【民生委員・児童委員】

■民生委員・児童委員とは？

厚生労働大臣から委嘱された地域の福祉を担うボランティアです。

■活動内容は？

お年寄りや生活困窮世帯などの相談に応じながら、地域全体の見守り・訪問活動などを行っています。

■九戸村の民生委員・児童委員は？

「広報くのへ1月号」に掲載してありますので、ご覧ください。

■問い合わせ 住民生活課地域福祉班(☎42-2111内線201)

休日当番医(9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
4	2	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500
	9	よこもり眼科クリニック	22-2230
	16	千葉耳鼻咽喉科医院	23-2009
	23	小野寺クリニック	46-2822
	29	おりそ内科循環器クリニック	22-2251
	30	浄法寺診療所	38-2021

休日当番歯科医(9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
4	2	国香歯科医院	23-2223
	9	菅原歯科クリニック	23-1180
	16	こしみず歯科クリニック	33-4618
	23	渡辺歯科医院	23-2052
	29	国香歯科医院	23-2764
	30	森川歯科医院	23-6361

ごみ収集日 4月

収集区域	瀬戸内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸戸上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
不燃・ビン・金物	4月3日(月)	4月4日(火)	4月10日(月)
空き缶	4月17日(月)	4月18日(火)	4月24日(月)
粗大ごみ	4月11日(火)		4月25日(火)
紙・プラ類	4月13日(木)	4月19日(水)	4月27日(木)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎住民生活課保健衛生班☎42-2111内線123

犬の飼い方、マナー を守りましょう

犬の飼い主さんは、犬の飼い方、マナーを守っていますか？

「犬を放し飼いでいる。道路に犬のフンがある。フンを川に捨てている」などたくさんの苦情が寄せられています。飼い主さんは、他人に迷惑を掛けないよう責任を持って管理しましょう。

■問い合わせ 住民生活課保健衛生班(☎42-2111内線123)



在職者を対象 職業訓練開催

在職者を対象とした職業訓練を実施します。

◎ビジネスマナー・接客

5月24日(水)、25日(木)

◎Wordビジネス活用応用

6月7日(水)、8日(木)

◎管理職研修

6月21日(水)、22日(木)

◎ISO 22000規格解説

7月5日(水)、6日(木)

■講習時間 午前9時～午後4時

■講習場所 二戸高等技術専門校

■受講料 無料(テキスト代など実費負担あり)

■対象者 原則として在職中の人であれば、誰でも受講することができます。

■申込締切 訓練日の2週間前

■申し込み・問い合わせ 二戸高等技術専門校(☎ 23-2227)

点訳・音訳・録音 図書編集体験会

見えない・見えにくい人のための図書などを製作するボランティアの体験会を行います。

■日時 4月14日(金)

◎1回目 午前10時～

◎2回目 午後1時～

■会場 アイーナ4階

視聴覚障がい者情報センター

■対象 点字図書館部門奉仕員に興味のある人

■その他 申込不要、自由参加

■問い合わせ 県立視聴覚障がい者情報センター(☎ 019-606-1743)

福祉活動費 一部を助成

村共同募金委員会では、皆さんからご協力いただいた赤い羽根共同募金を基に、さまざまな福祉事業を展開しています。

そこで、平成29年度の赤い羽根共同募金を基に、翌年平成30年度に実施を

予定している村内福祉活動実施団体に活動費の一部を助成します。

■対象団体 地域福祉活動実施団体(各種福祉団体、自治会、町内会、福祉施設など)

■対象事業 地域での高齢者見守り活動、見守りマップづくり、子育てサロン、地域の福祉活動、社会福祉を目的とする事業など

■募集締切 4月28日(金)

■助成の決定 申請後、審査委員会で審査の上、村募金委員会で審議され、県共同募金会で助成が決定されます。

■申し込み・問い合わせ 村総合福祉センター内・村共同募金委員会、村社会福祉協議会(☎ 41-1200)

※申請用紙は村総合福祉センターにありますので、相談ください。

編集後記

◆昨年には両足皮膚に炎症が出て、年明けには首が回らなくなってしまいました。仕事のやり方やお金の使い方に注意しないといけないと痛感しています。◆人事異動が発表になり、広報6年目に突入。本年度もご協力の程、よろしくお願いいたします。(下村)

人のうごき

(平成29年3月1日現在)

●人口 6,046人 (－9)

男 2,913人 (－1)

女 3,133人 (－8)

●世帯数 2,168世帯 (－2)

(カッコ内は前月比)

転入 8人 (11人)

転出 9人 (16人)

出生 2人 (4人)

死亡 10人 (21人)

(カッコ内は1月からの累計)



オドデ塾塾生と小中高生が笑いを交えた寸劇を上演。その後、来場者へ歓迎のお振る舞い

オドデ塾ふれあい演芸まつり

オドデ塾ふれあい演芸まつりは3月4日、江刺家小学校体育館で開かれました。江刺家地区の有志が集まり平成6年に結成されたオドデ塾。やる気に満ちあふれた、オドデ塾塾生が主催するこのまつりは、「世代間の懸け橋になろう」をスローガンに始められ、今年で23回目を迎えました。

この日待ちわびていた282人が集まり、歌や出し物、バンドライブなど多彩な演出に酔いしていました。

オープニングは、塾生と江刺家地区の小中高生による Perfect Human のダンスで華々しく幕開けしました。

昨年からはじめられたカラオケ大会には村内外から10人が出場し、自慢の歌声が競われました。3グループに分かれ予選で争われた後、3人による決勝で栄冠を争奪。結果は、唯一村外から出場した、小林忠男さん(63歳・軽米町円子)

が見事、優勝に輝きました。

ステージ上では踊りやカラオケ、江刺家神楽などが次々と上演され、観客を魅了していました。また、伊保内保育園の年長児(当時)5人と女性5人が可愛らしい衣装を身にまとい、キューティーハニーを愛らしく演じて、男性たちの心をつかんでいました。さらに、塾生と中高生の趣向を凝らしたコントが披露されると、会場は笑いや笑顔に包まれ、観衆は一樣に幸せそうな表情を浮かべていました。友達に誘われて来たという段下カズ子さん(67歳・鹿島)は、「初めて見たけど、心を一つに演じる姿に感動した」とほほ笑んでいました。

人と地域の懸け橋に

園児から年配の人まで幅広い年代の人が出演したふれあい演芸まつり。世代間だけでなく、人と人の交流に花が咲き、村内外のつながりを深め、人づくりや地域づくりの懸け橋となっていました。

元気にダンスを舞い踊った、ひめほたるこども園の4歳児(当時)9人



お茶目な踊りで観客の目を釘付けにした女性10人

